※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。他の人の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
・家庭や地域の生活課題を主体的に解決するための思考を深める。
・生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	食生活をつくる、住生活をつくる、超高齢社会を共に生きる、子どもと共に育つなどに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 食生活をつくる、住生活をつくる、超高齢社会を共に生きる、子どもと共に育つなどに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	食生活をつくる、住生活をつくる、超高齢社会を共に生きる、子どもと共に育つなどについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身につけている。	食生活をつくる、住生活をつくる、超高齢社会を共に生きる、子どもと共に育つなどについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○食品の選択と安全 ○生涯の健康を見通した食事計画 ○調理の基礎 ○食生活の文化と知恵 ○これからの食生活	a：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。生涯を通してについて健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身につけている。ライフステージの異なる家族に合わせて適切な献立作成ができる。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境、食文化に関心を持ち、自分の問題として捉えるための知識を身につけて、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・ワークシート ・授業観察 ・実習観察 ・実習レポート	・定期考査 ・ワークシート ・授業観察 ・実習観察 ・実習レポート	・ワークシート ・授業観察 ・実習観察 ・実習レポート

※令和４年度以降入学生用

2	超高齢社会を共に生きる・住生活をつくる	○超高齢・大衆長寿社会の到来 ○高齢期の心身の特徴 ○高齢者の自立を支える ○これからの超高齢社会	a：生涯を見通して、住居の機能や住環境の計画などについて関心を持ち、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活をみつめて課題を見出し、その解決にむけて考え、表現している。 c：超高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	・授業観察 ワークシート レポート 定期考査 実習レポート	・授業観察 ワークシート レポート 定期考査 実習レポート	・授業観察 ワークシート レポート 実習レポート
		○住生活の変遷と住居の機能 ○安全で快適な住生活の計画	a：超高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。高齢者と適切にかかわることができたり、高齢者の自立生活を支える技術を身につけている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決に向けて考え、表現している。 c：超高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。	・授業観察 ワークシート レポート 定期考査 実習レポート 製作物	・授業観察 ワークシート レポート 定期考査 実習レポート 製作物	・授業観察 ワークシート レポート 実習レポート 製作物
3	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもと関わる ○子どもとの触れ合いから学ぶ ○これからの保育環境	a：生命の尊さ、子育ての意義の重要さについて理解している。子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。 b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決に向けて考え、表現している。 c：子どもの発達と保育について、関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・ワークシート ・実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・ワークシート ・実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度